

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表							
記入年月日	平成19年4月10日		記入者	村山裕子		連絡先	49-2244
平成18年度部名	生涯学習部		課名	相模大野図書館		課長名	氷見 一一
平成19年度部名	生涯学習部		課名	相模大野図書館		課長名	田所 哲男
事務事業名	相模大野図書館施設維持管理費						
予算上の事務事業名	相模大野図書館施設維持管理費						
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15110			
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして						
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります						
基本施策名	第1節 生涯学習の推進						
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実						
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等							
図書館法、相模原市図書館条例及び施行規則							
3 個別計画の概要				概要			
計画名							
計画年次		年度～		年度			
4 事業形態の区分	維持・管理・補修			5 事業開始年度	平成元年度		
6 事業概要							
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象 (誰、何)			
図書館施設を適切に維持管理し、市民の生涯学習の支援に資する。				市民(在勤・在学者、広域利用協定締結市市民を含む)			
(3) 平成18年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。							
相模大野図書館 (グリーンホール相模大野 図書館・メディカル棟3,4階 2,788㎡)							
<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理 (警備施設委託・建物清掃委託・電話料、光熱水費負担・施設賠償責任保険加入ほか) 館内秩序維持 図書館電算システム管理 							
7 関連事業・類似事業又は他市の状況							
8 事業費の推移 〔単位：千円〕							
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業費	15,445	14,882	14,764	16,441	18,941		
一般財源	15,432	14,867	14,746	16,426	18,926		
受益者負担金	0	0	0	0	0		
その他の特定財源	13	15	18	15	15		
人件費の合計	32,280	32,200	32,200	30,590	28,175		
事業コスト合計	47,725	47,082	46,964	47,031	47,116		
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率							
事業名 (主たる事業名)	施設維持管理事業			対象名称 と単位	年間貸出利用者数 (人)		
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度		
事業コスト(主たる事業)	15,445	14,882	14,764	16,441	18,941		
対 象 数	232,482	219,756	207,445	230,000	240,000		
単位あたり経費(円)	66	68	71	71	79		
前 年 度 比		1.02	1.05	1.00	1.10		
10 活動指標・・・実施した内容 (活動) を数値化したもの							

指標名と単位	開館日数(日)	指標式と指標の説明	1年間の開館日数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	291.0	291.0	294.0		
目標	291.0	291.0	294.0	287.0	291.0
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	1日平均貸出冊数(冊)	指標式と指標の説明	1年間の貸出冊数/1年間の開館日数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	2,438.6	2,329.4	2,201.5		
目標	2,000.0	2,100.0	2,200.0	2,300.0	2,400.0
目標達成度(%)	121.9	110.9	100.1		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A:効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価(一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]:良好な状態を維持する事業				
	[★★★]:概ね良好な状況である事業				
	[★★]:見直しを行う必要がある事業				
	[★]:抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価(今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		施設の維持管理については、個別に委託化が進んでおり現状維持が妥当である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1.5 課題として認識されたこと		
職員全員がさらに利用しやすい図書館を目指して業務に当たる。また、図書館事業・サービスのPRに努める。			施設運営全般に市職員と複数の委託業者が関わることとなるため、災害時等の対応・連携について検討する必要がある。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			